

被爆80年

ソーシャルワーカーとしての平和の擁護を考える

～いのち・くらし・こころに寄り添う福祉専門職～

広島医療ソーシャルワーカーは、被爆者と共に歩んできました。被爆者支援を除いてその歴史を語ることはできません。1981年に誕生した原爆被害者相談員の会は、被爆者の怒りや苦しみとともに誕生した会であり、相談会の実施や、被爆証言のつどいの開催などに現在も取り組んでいます。

昨年、被団協がノーベル平和賞を受賞し、あらためて反核平和の地道な取り組みに注目が集まっています。被爆80年を迎えた今、ソーシャルワーカーの倫理綱領前文に示されている「平和の擁護」について、広島県内外のソーシャルワーカーと学び、考え、発信します。

記念講演

「被爆者との 出会いに生かされて」

講師： 齊藤とも子さん

俳優・社会福祉士

神戸出身、1979年NHK少年ドラマ「明日への追跡」でデビュー

映画「ひめゆりの塔」他多数。1999年舞台「父と暮せば」(井上ひさし作)出演をきっかけに被爆者と出会った。2005年、原爆小頭症当事者と家族でつくる「きのこ会」の歩みを描いた『きのこ雲の下から、明日へ』(ゆいぽおと)を出版。



日時: 2025年 9月 13日(土) 13:30～16:30

場所: エソール広島 広島市中区大手町1丁目2-1(おりづるタワー10階)

参加費: 無料 対象者: ソーシャルワーカー・ソーシャルワーカーをめざす学生他どなたでも



*ハイブリッド開催

正面でなく裏手の入り口からお入りください。
スタッフが案内します

<指定報告①>

「ソーシャルワーカーになる、
当事者になる」

報告者: 櫻下 美紀 さん

原爆被害者相談員の会 事務局長

広島共立病院 医療ソーシャルワーカー

<指定報告②>

「平和を意識したソーシャルワーク」

報告者: 嘉手納 泉也 さん

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 社会活動部

大浜第一病院 医療ソーシャルワーカー

主催: 広島県医療ソーシャルワーカー協会

原爆被害者相談員の会

問い合わせ先: 広島共立病院 医療福祉相談室 Mail: msw@hiroshimairyo.or.jp

*オンラインでのご参加の方は、後日ミーティングID・パスコードをメールでご連絡します

参加申込み→

